

表 2-6 鹿児島城本丸跡の調査一覧

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
①	昭53～55	明治百年記念館(現:黎明館)建設	本調査	県教委	県発掘調査報告書26	建物跡(麒麟の間・サキの間・奥御所院・御数寄屋蔵等)、雨落溝、排水溝、池、井戸、上水道石管、水槽、その他水利施設、橋、門、雪隠、階段	【近世】 陶磁器、瓦(鬼瓦等)、金属製品(簪・釘・キセル・飾り金具)・古銭(天保通寶等) 【近代】 陶磁器	一部消滅、一部現地保存	多くの建物跡が確認され、「成尾常矩指図」に描かれた本丸跡の建物の基礎が良好に残存していたことが確認された。鹿児島城跡は元禄9(1691)年に大火で焼失していること、遺物の大半が江戸時代中期以降のものであったことから、確認された建物跡は、元禄の大火以降に再建され、明治6(1873)年に焼失した建物跡である可能性が高いことが示された。
	平11	石垣修復工事(御角櫓跡)	本調査	県教委	黎明館調査研究報告第14集	御角櫓跡基礎、排水溝	瓦(軒丸・軒平・伏間)	消滅	御角櫓跡の基礎の一部を確認
	平26～令2	鶴丸城跡保全整備事業(石垣修復等)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(205)、(214)	【近世】 御楼門礎石・地業、三和土、建物跡(門番所、御兵具所、御兵具奉行張番所、能舞台端掛り、御角櫓等)排水溝、環状遺構、石畳、石垣、裏込め 【近代】 砲弾・銃弾痕、铸铁管、岩崎行親像台座、天文観測室跡、テニスコート跡	【近世】 瓦(軒丸・軒平・小菊・丸・平・軒棧・棧・鬼・臈・棟込・輪違い・海鼠瓦・棟・塀・鳥伏間)、陶磁器)、土器、石製品(硯・日時計)、金属製品(釘・古銭(琉球通寶等)) 【近代】 瓦(鬼瓦等)、陶磁器(薩摩等)、石製品(硯・砥石・島津珍彦銅像銘)、金属製品(釘・鉛玉・銃弾・薬莖・古銭)、ガラス製品(薬瓶・インク瓶・試験管等)	一部消滅、一部現地保存	御楼門の地下構造を確認。「成尾常矩指図」に描かれた「兵具所」や「能舞台跡」、「御角櫓跡」等の基礎構造を確認。調査区全体で確認された排水溝や「外御庭」跡の環状遺構から、鹿児島城跡全体の排水構造が明らかになった。北御門周辺の石垣修復に伴う調査では、石垣の背面構造が明らかになった。
	令元～令3	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	【近世】 排水溝、地業、石列、唐御門礎石、布地業、歌石遺構、方形土坑、塀(本丸大奥境)、土坑 【近代】 枡形スロープ、铸铁管	【近世】 瓦(軒平・軒丸等)、陶磁器 【近代】 陶磁器、ガラス製品(薬瓶等)、煉瓦、陶製土管	現地保存	唐御門跡で、唐御門の礎石を確認。御楼門から唐御門にむかう枡形内のスロープが近代遺構のものであることを確認。本丸大奥跡では、本丸大奥とその外側の道(御茶道通り)との境の塀を確認。



写真 2-8 本丸跡の遺構検出状況(左:全景(県教委1983) 右:庭園状遺構(県埋セ2022))



写真 2-9 鹿児島城跡出土遺物

表 2-7 鹿児島城二之丸跡 発掘調査一覧

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
②	昭52	県立図書館建設	本調査	県教委	県教委1991『鹿児島城二之丸跡(遺構編)』 県教委1992『同(遺物編)』	建物跡(御簀古所・御台所等)、社殿跡、門跡、井堰、石管水道、井戸、排水路、堀跡、石垣、通路	瓦、陶磁器、土師器、瓦器、石製品(硯等)、ガラス製、洗面具、髪止め、鉄製品	一部消滅、一部現地保存	「成尾指図」に記された「クラ」や「御簀古所」「御台所等」を確認。本丸と二ノ丸境の堰井堰を確認。水道石管は当時としては珍しい耐圧式である。
	平28～29	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(214)	井堰、排水溝	瓦、陶磁器、木製品(鏡状木製品等)、ガラス製品(薬瓶等)	現地保存	昭和52年度確認された井堰を再確認し、構造等を記録。
	令元～2	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	造成面	瓦、陶磁器	現地保存	明確な遺構は確認できず。

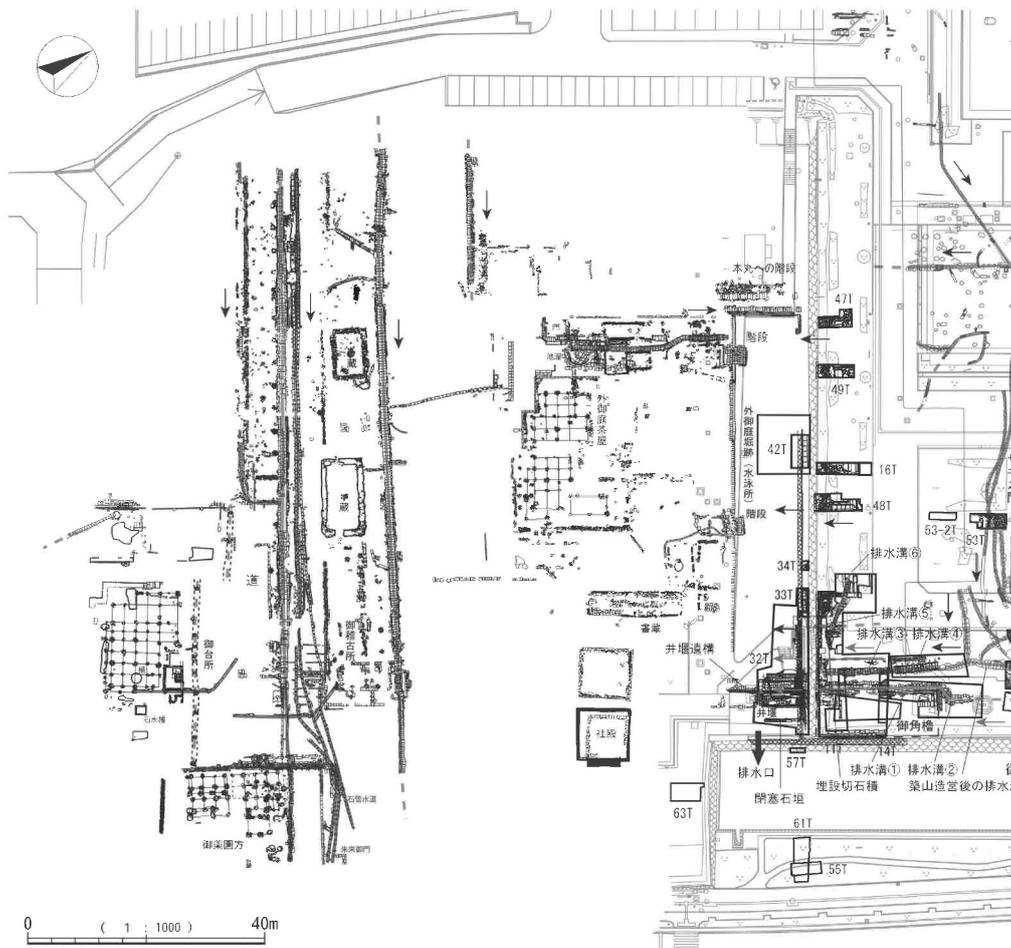


図 2-9 二之丸跡等遺構配置図(県埋セ2022)

写真 2-10 二之丸B地点堀の井堰出土状況(県埋セ2022)



表 2-8 上山城跡 発掘調査一覧

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㉓	昭61	城山公園トンネル工事	確認調査	市教委	市教委1986『上山城跡』	—	—	一部消滅	鹿児島城に繋がる遺構、遺物なし。
㉔	令2	保存目的	確認調査	市教委	市教委2021『上山城跡(1次)』	土塁、空堀	土師器皿、青花碗、埴瓦、近世陶磁器	現地保存	切土と盛土2種類の土塁を確認。
㉕	令3	保存目的	確認調査	市教委	市教委2021『同(2次)』	空堀	土師器皿、瓦質土器、近世陶器、鉄製品	現地保存	土塁に伴う空堀を確認



写真 2-11 土塁(市教委2020)



写真 2-12 ニノ丸曲輪切岸と空堀(市教委2020)

表 2-9 鹿児島城跡(大手口) 発掘調査結果

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㉖	令2	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	石列、坪地業、布地業、土塁	陶磁器、瓦	現地保存	3時期の遺構を確認。大手口が江戸時代を通じて維持されていたことを証明



写真 2-13 調査区全景(県埋セ2022)



写真 2-14 石列(県埋セ2022)

表 2-10 鹿児島城跡二之丸跡 発掘調査一覧（指定地外）（1）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
③	令元～2	鶴丸城跡保全整備事業（範囲確認）	確認調査	県理セ	県理セ発掘調査報告書(215)	石列、漆喰面	瓦、陶磁器	現地保存	『鹿児島城下絵図』や明治5（1872）年の古写真に7みえる役所曲輪の長屋の基礎と考えられる遺構を確認。
④	平15	県立博物館施設等事業	本調査	県理セ	県理セ2003『鹿児島城跡二之丸跡発掘調査概要報告書』	布基礎	瓦、陶磁器、	消滅	近世～近代と考えられる3列の布地業を確認。
⑤	昭58	市立美術館建設	本調査	市教委	市教委1984『鹿児島（鶴丸）城二之丸跡』	建物跡、上水道石管、排水溝、水利施設等	陶磁器、土師器、瓦、金属製品（釘等）釈迦仏立像等	消滅	江戸時代後期の二之丸殿舎と考えられる建物跡を確認。
⑤	平8	個人住宅建設	確認調査	市教委	市教委1996『鶴丸城二之丸跡確認調査報告書』	-	陶磁器、土器	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし
⑥	平28～29	マンション建設	本調査	市教委	市教委2020『鹿児島（鶴丸）城二之丸跡E地点』	建物跡、水道石管、石組溝、排水溝、礫群、石列、敷石遺構、	近世・近代陶磁器、土師器、土器、瓦、木製品、骨製品、石製品、ガラス製品、金属製品、銭貨	消滅	建物跡、水利施設等の二之丸跡に関わる多くの遺構を確認した。「二大」、「二裏」など二之丸を示唆する記銘が残された焙烙や磁器が出土した。
⑦	平6	近代文学館・メルヘン館建設	確認調査	市教委	市教委1995『鶴丸城二之丸跡-旧ホテル鶴鳴館跡地-』『甲突川川底遺跡-玉江橋下-』	暗渠形石組、排水溝、石列	陶磁器、瓦	消滅	藩政期の排水溝を確認。
⑨	平10	民間施設建設	本調査	市教委	市教委1995『鹿児島（鶴丸）城二之丸跡F地点』	石垣基礎石列、水道管列、布基礎列、布基礎、基礎石組列、雨落溝、瓦、池、池石組列	陶磁器、土師器、瓦類、窯道具、円盤型度製品	消滅	水道石管は当時としては珍しい耐圧式である。花十字紋K軒丸瓦が出土。
⑩	平25	マンション建設	確認調査	市教委	市教委2000『鹿児島（鶴丸）城二ノ丸跡H地点確認調査事業報告書』	-	陶磁器、土師器、瓦、成川式土器、黒曜石	消滅	近世二之丸跡の生活面はすでに消滅。
⑪	平14	店舗建設	確認調査	市教委	市教委発掘調査実施報告書	-	陶磁器、瓦	消滅	近世二之丸跡の生活面はすでに消滅。
⑪	平16	集合住宅建設	確認調査	市教委	市教委2004『鹿児島（鶴丸）城二ノ丸跡J地点』	-	陶磁器	消滅	鹿児島城に繋がる遺構、遺物なし。
⑫	平18	個人住宅新築	確認調査	市教委	市教委2006『鹿児島（鶴丸）城二ノ丸跡K地点』	-	-	消滅	近現代の建物基礎が確認された。
⑬	平18	建物増築	確認調査	市教委	市教委2006『鹿児島（鶴丸）城二之丸跡L地点』	土坑	陶磁器、土師器	消滅	鹿児島城に繋がる遺構、遺物なし。
⑭	平19	共同住宅建設	確認調査	市教委	市教委2009『鹿児島（鶴丸）城二ノ丸跡M地点』	石垣	陶磁器、土器、瓦他	消滅	石垣は近代のものと考えられる。
⑮	平21	土地売買	確認調査	市教委	市教委2009『鹿児島（鶴丸）城二ノ丸跡N地点』	三和土状遺構、側溝状遺構、礫集中部、縁石状遺構	陶磁器、瓦、古銭等	消滅	多くの関連遺構、遺物が確認された。
⑯	平27	建物基礎撤去ほか	確認調査	県教委	県教委2015『鶴丸城二之丸跡（旧環境保健センター）試掘調査報告書』	-	陶磁器、瓦	消滅	近世の遺物が確認された。
⑰	平24	宅地造成	確認調査	市教委	市教委2012『鹿児島城跡（鶴丸城）O地点』	-	陶磁器	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし
⑱	平27	個人住宅建設	確認調査	市教委	市教委発掘調査実施報告書	-	-	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし
⑲	平29	マンション建設	確認調査	市教委	市教委2017『鹿児島（鶴丸）城跡Q地点』	-	陶磁器	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし
⑳	令元	近代文学館駐車場建設	確認調査	市教委	市教委2019『鹿児島（鶴丸）城跡R地点』	石組溝、水道石管、	陶磁器、瓦	一部消滅	近世の遺構・遺物が確認された。
㉑	令元	温泉施設建設	確認調査	市教委	市教委2019『鹿児島（鶴丸）城跡R地点』	水道石管	陶磁器	現地保存	近世の遺構・遺物が確認された。

表 2-10 鹿児島城跡二之丸跡 発掘調査一覧（指定地外）（2）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㉞	令5	共同住宅建設	確認調査	市教委	市教委2024『鹿児島（鶴丸）城跡R地点』	石管水道	-	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし
㉟	令5	民間施設建設	本調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(231)	-	陶磁器, 瓦, 木製品 (将棋盤か)	消滅	二之丸御殿と役所曲輪の境の可能性のある畷を確認。と溝状遺構、柱穴列、土坑瓦列（雨樋遺構か）を確認。



写真 2-15 二之丸跡遺構検出状況 C地点 (市教委1984)



写真 2-16 二之丸跡遺構検出状況 E地点 (市教委2020)

表 2-11 鹿児島城跡（南泉院） 発掘調査結果（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊲	令2	鶴丸城跡保全整備事業（範囲確認）	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	【中世】土坑 【近世】土塁	【中世】陶磁器 【近世】陶磁器、瓦	現地保存	中世の遺構面を確認、南泉院造立以前の土塁、造立時の造成土を確認。



写真 2-17 調査区全景 (県埋セ2022)



写真 2-18 土塁（上面及び断面）(県埋セ2022)

表 2-12 鹿児島城跡御厩跡 発掘調査一覧（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	平12	治療棟増築及び駐車場改修	確認調査	県教委	県教委2000『鹿児島（鶴丸城）厩跡』	—	—	—	鹿児島城に繋がる遺構、遺物なし。
	平28	鹿児島医療センター増築工事	確認調査	市教委	市教委2016『鹿児島（鶴丸）城御厩跡』	—	—	—	鹿児島城に繋がる遺構、遺物なし。
	平28	鹿児島医療センター増築工事	本調査	市教委	市教委2017『鹿児島（鶴丸）城御厩跡』	溝状遺構、土坑、ピット	陶磁器、瓦質土器、土師器石製品、金属製品、瓦、縄羽口、鉄滓	一部消滅	御厩跡関連遺構を確認、鋳造・火や鍛冶に関連する遺物が出土。中世の遺物が確認。



写真 2-19 II層上面検出遺構(市教委2017)



写真 2-20 石組遺構及び布地業(市教委2017)

表 2-13 造士館・演武館跡 発掘調査結果（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	平2～3	中央公園地下駐車場建設	本調査	市教委	市教委1992『造士館・演武館』	側溝、石畳、根石基礎、布基礎、排水溝、石組井戸、剝抜式水道石管	陶磁器、瓦	消滅	造士館に関連する排水溝等を確認。

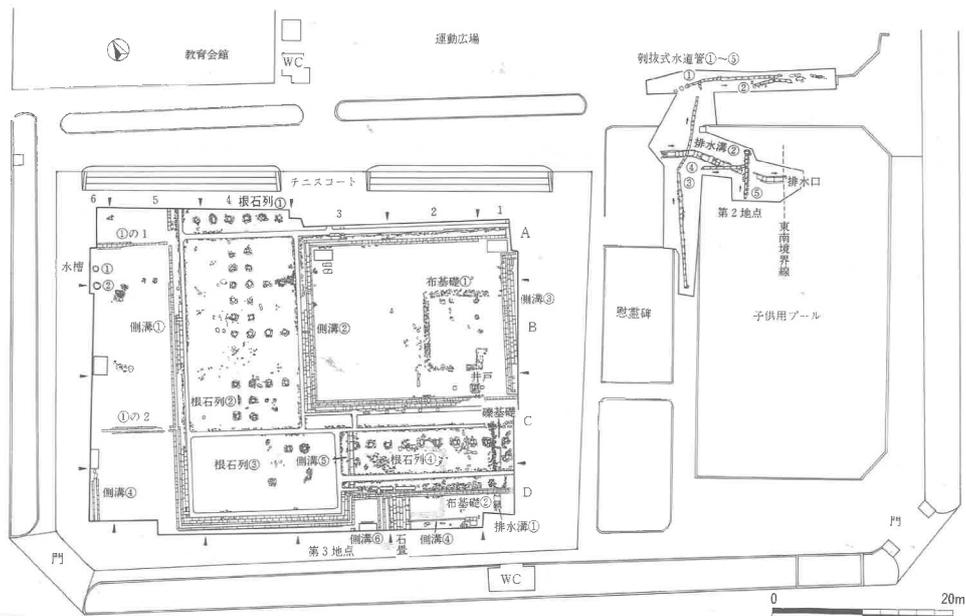


図 2-10 遺構配置図（市教委1992）

表 2-14 名山遺跡 発掘調査一覧（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	昭59	屋内運動場建設	確認調査	市教委	市教委1988『名山遺跡―第1次～3次―』	石組排水溝、はしご胴木	陶磁器、瓦	一部移設保存	城下町の排水施設を知る上で重要である。
	昭60	教育総合センター建設	確認調査	市教委		排水溝、地業	-	消滅	遺構は近代
	昭61	教育総合センター駐車場建設	確認調査	市教委		瓦溜り等	-	消滅	遺構は近代
	平13	校庭整備	確認調査	市教委	市教委2002『名山遺跡―第5次―』	石組排水溝、基礎石列、はしご胴木	陶磁器、瓦、木製品（下駄等）	現地保存	排水溝は、喜入氏屋敷と永吉島津家屋敷の境の溝の可能性はある。

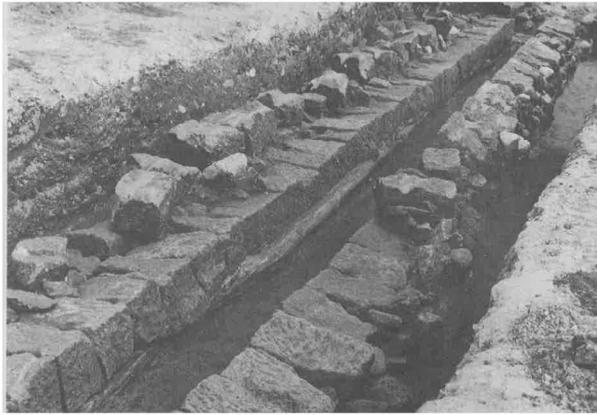


写真 2-21 石組排水溝(市教委1998)



写真 2-22 石組排水溝のはしご胴木(市教委2002)

表 2-15 市役所西別館建設予定地 試掘調査結果（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	平24	鹿児島市役所本庁舎西別館建設	試掘	市教委	市教委2012『鹿児島市役所本庁舎西側駐車場（県警跡地）』	-	-	消滅	鹿児島城に繋がる遺構なし

表 2-16 鹿児島城跡（犬追物馬場・火除地） 発掘調査一覧（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	平29	鹿児島第3合同庁舎整備事業	本調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(211)	【中世】杭列 【近世】溝状遺構、土坑、柱穴群、杭列、瓦溜	【中世】陶磁器 【近世】陶磁器、瓦、木製品（杭等、キセル、硯、獣骨、獣歯）	消滅	中世の遺構・遺物を確認。犬追物馬場の柵列を確認。元禄9（1696）年の大火の処理層を確認。
㊹	令3				県埋セ発掘調査報告書(220)	【中世】杭列 【近世】土坑、柱穴群	【中世】陶磁器 【近世】陶磁器、瓦、木製品	消滅	平成29年度調査区の続きと考えられる杭列をつか確認。



写真 2-23 犬追物馬場の柵と考えられる杭列検出状況（県埋セ2021）



写真 2-24 犬追物馬場の柵と考えられる杭列の杭（県埋セ2023）

表 2-17 垂水・宮之城島津家屋敷跡 発掘調査結果（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊺	平11～12	かごしま県民交流センター建設	本調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(48)	屋敷境溝、地業、土坑	陶磁器、瓦、土器、瓦質土器、木器、金属器	消滅	京焼風陶器を中心とした墨書陶磁器を多く確認。イギリス・ドーンソン製の皿を確認。



写真 2-25 地業列（県埋セ2003）



写真 2-26 屋敷遺構と空堀（県埋セ2003）

表 2-18 鹿児島城跡（吉野堀） 発掘調査結果（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	令2	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	石垣、胴木	陶磁器、瓦	現地保存	吉野堀の埋土の可能性のある堆積を確認。



写真 2-27 堀の埋土と考えられる造成土(県埋セ2022)

表 2-19 琉球館跡 発掘調査一覧（指定地外）

地図との対応NO	調査年度	調査起因	調査の種類	調査主体	報告	特筆すべき遺構	特筆すべき遺物	現状	備考
㊸	平14	校庭整備事業	本調査	市教委	市教委2003『鹿児島市埋蔵文化財確認発掘調査報告書-共研公園・琉球館跡-』	石垣塀基礎、布基礎列、排水溝	陶磁器（琉球焼、清朝磁器）、瓦	一部消滅	他の遺跡に比べて琉球焼、清朝磁器の占める割合が高い。琉球館と種子島屋敷の遺構が確認された。
	平15	長田中学校銃剣道場改築	確認調査	市教委	市教委2004『琉球館B地点確認発掘調査事業報告書』	吉野堀埋土？	陶磁器、瓦	消滅	吉野堀の埋土を確認している可能性がある。
㊸	令2	鶴丸城跡保全整備事業(範囲確認)	確認調査	県埋セ	県埋セ発掘調査報告書(215)	【近世】溝状遺構 【中世】土坑、ピット	【近世】瓦、陶磁器、杭 【中世】五輪塔水輪、陶磁器	現地保存	吉野堀南側の土壘か？鹿児島城跡築城以前の中世の遺構を確認。



写真 2-28 中世の土坑と五輪塔水輪(県埋セ2003)

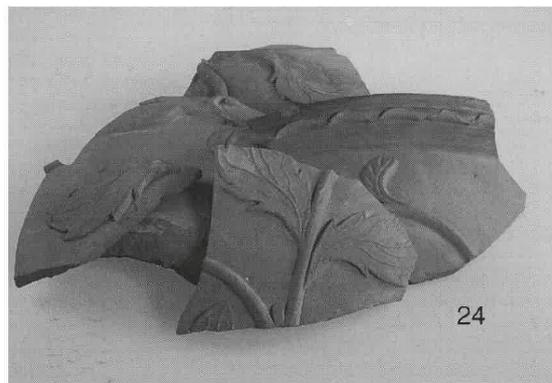


写真 2-29 出土遺物（琉球陶器）(県埋セ2003)